

2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社かんな丸 上場取引所 東
 コード番号 7585 URL http://www.kannanmaru.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野々村 孝志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 宮永 一彦 TEL 048-815-6699
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の業績 (2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	249	-	△124	-	△122	-	△132	-
2022年6月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	△34.87	-
2022年6月期第1四半期	-	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,642	1,018	62.0
2022年6月期	1,772	1,171	66.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 1,018百万円 2022年6月期 1,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	6.00	6.00
2023年6月期	-	-	-	-	-
2023年6月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
 2023年6月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	790	192.1	△95	-	△33	-	△36	-	△9.44
通期	1,650	148.0	△110	-	△50	-	△55	-	△14.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は2022年9月1日付で連結子会社である株式会社しんしん丸を吸収合併いたしました。当合併により連結子会社が無くなることから、2023年6月期は個別決算による開示となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	4,351,308株	2022年6月期	4,351,308株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	539,761株	2022年6月期	539,761株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	3,811,547株	2022年6月期1Q	3,811,563株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(企業結合等関係)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は2022年9月1日付で当社の完全子会社である株式会社しんしん丸を吸収合併したことに伴い、第1四半期累計期間においては期首から2ヵ月は連結決算でありましたが、当第1四半期累計期間の末日においては非連結決算へと移行しております。上記により当第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っておりません。

当第1四半期累計期間における外食業界は、期初においては新型コロナウイルス感染症第6波が下げ止まりを見せ、経済活動活性化へのシフトにより来店客数が増加し業界全体に回復の勢いが伺われましたが、新型コロナウイルス感染症第7波による逆風は想定以上にインパクトがあり、その落ち込みから再度上昇基調へ組み上げていかなくてはならず、厳しい経営環境となっております。また、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する世界的な物価高騰による、仕入費用の増加、水道光熱費の増加、パート・アルバイトの時給アップ他、費用増大の兆しが顕れております。

このような状況の中、当社が主力として運営しております居酒屋業態においては、コロナ禍においても飲食店でご飲食する素晴らしさを感じていただけるように、企業理念を具現化するための20項目を定め、スタッフ全員が一丸となってお客様に笑顔でお帰りいただくように注力しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症第7波による売上下降局面からの回復は相当程度の時間を要するため、第1四半期累計期間の業績は非常に厳しい状況で推移しております。

当第1四半期会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」20店舗、「日本海庄や」4店舗、カラオケルーム「うたうんだ村」1店舗、大衆すし酒場「じんべえ太郎」5店舗、Italian Kitchen「VANSAN」2店舗の合計32店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高249,918千円、売上総利益は168,824千円、販売費及び一般管理費については293,603千円となり、営業損失は124,778千円となりました。

経常損失につきましては122,258千円、税引前四半期純損失131,536千円となり、四半期純損失132,894千円となりました。

なお、当社は、料理飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は888,120千円となり、前事業年度末に比べて195,702千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が123,504千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は754,671千円となり、前事業年度末に比べて65,600千円の増加となりました。これは主に、建物等の有形固定資産が100,518千円増加、差入保証金が34,922千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は213,409千円となり、前事業年度末に比べて36,889千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加25,833千円によるものであります。

また、固定負債は411,223千円となり、前事業年度末に比べて13,685千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少7,500千円によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は1,018,158千円となり、前事業年度末に比べて153,305千円の減少となりました。四半期純損失の計上及び配当金支払の結果、利益剰余金が152,461千円減少したことによるものであります。

（3）継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症第7波による感染者数の大幅な増加がみられ、それによって全国的に飲食店の利用状況が一時的に著しく低迷しております。当期に入り、7月初旬までは、一時、同感染症第6波による新規感染者数が漸減傾向にあったことから、売上高は回復傾向がみられましたが、その後、同感染症第7波による新規感染者数が急増したことにより、再び売上高は低迷したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が継続しております。

このような状況を解消するために、当社は、資金繰りの安定化と事業の収益改善を目的とした事業再構築の二本柱を改善策として実施してまいります。

一つ目は、資金繰りの安定化のため、政府系金融機関並びに民間金融機関から新型コロナウイルス感染症に関する特別貸付（3年間実質無利息・無担保）の長期低利融資を活用し、運転資金の維持確保のため一定額のキャッシュ水準の積み増しと維持に努めております。

二つ目には、居酒屋業態においては、自社ブランドへの業態転換と補助金を活用し新規業態をオープンしております。具体的には、居酒屋業態においては既存ブランドである庄や・日本海庄やの活性化と自社ブランドであるじんべえ太郎への業態転換を図るとともに、単一事業ポートフォリオを見直し、Italian Kitchen VANSANを中小企業事業再構築補助金を活用し新規オープンしております。加えて、当社のDX化や店舗設備においても補助金を活用しながら導入・更新を進め、これらの対応策と既存店舗の活性化により全体の売上高の回復とともに店舗収益改善と事業の効率化を図り、営業損益の改善を行ってまいります。

当社は、当第1四半期会計期間末現在で、現預金残高825,856千円、純資産残高1,018,158千円を有しており、安定的な財政状態を維持しております。今後も、これを基盤として上記対応策を進めていくことにより、継続企業の前題に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月12日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	949,360	825,856
売掛金	25,323	25,484
原材料	9,898	12,198
前払費用	19,283	19,202
その他	79,958	5,378
流動資産合計	1,083,822	888,120
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	143,337	238,279
土地	213,034	213,034
その他（純額）	21,239	26,817
有形固定資産合計	377,612	478,131
無形固定資産	13,165	13,102
投資その他の資産		
差入保証金	232,910	197,988
その他	73,831	71,682
貸倒引当金	△8,449	△6,232
投資その他の資産合計	298,293	263,437
固定資産合計	689,070	754,671
資産合計	1,772,893	1,642,791
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,347	28,829
1年内返済予定の長期借入金	46,664	72,497
未払法人税等	4,910	1,952
賞与引当金	700	3,600
その他	92,895	106,529
流動負債合計	176,519	213,409
固定負債		
長期借入金	316,666	309,166
資産除去債務	93,043	93,346
その他	15,199	8,711
固定負債合計	424,909	411,223
負債合計	601,429	624,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	313,600	313,600
利益剰余金	1,423,551	1,271,089
自己株式	△622,129	△622,129
株主資本合計	1,165,022	1,012,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,442	5,598
評価・換算差額等合計	6,442	5,598
純資産合計	1,171,464	1,018,158
負債純資産合計	1,772,893	1,642,791

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）
売上高	249,918
売上原価	81,094
売上総利益	168,824
販売費及び一般管理費	293,603
営業損失（△）	△124,778
営業外収益	
受取利息	7
受取家賃	1,618
貸倒引当金戻入額	524
その他	389
営業外収益合計	2,539
営業外費用	
支払利息	19
営業外費用合計	19
経常損失（△）	△122,258
特別損失	
減損損失	1,451
貸倒引当金繰入額	7,826
特別損失合計	9,277
税引前四半期純損失（△）	△131,536
法人税、住民税及び事業税	1,903
法人税等調整額	△545
法人税等合計	1,357
四半期純損失（△）	△132,894

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(完全子会社の吸収合併)

当社は、2022年7月12日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社しんしん丸を吸収合併することを決議し、2022年9月1日付で実施いたしました。

1. 取引の概要

① 被結合企業の名称及びその事業の内容

被結合企業の名称 株式会社しんしん丸

事業の内容 料理飲食店の経営

② 合併日（効力発生日）

2022年9月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社しんしん丸を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社かんなん丸

⑤ その他取引の概要に関する事項

当社と株式会社しんしん丸が一体となることで、当社事業全体の強化と効率化を図ることを目的に吸収合併することといたしました。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。

(セグメント情報等)

当社は、料理飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。